



政務活動費収支報告書

(あて先) 飯能市議會議長

議員氏名 松 橋 律 子



飯能市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり
平成29年度（平成29年5月分～平成30年3月分）の政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 政務活動費	<u>165,000 円</u>
2 支 出	<u>89,203 円</u>

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研 修 費	58,220 円	11月15日・16日③④全国議長会研究フォーラムイン姫路
調 査 研 究 費	2,120 円	7月12日龍ヶ崎市役所視察 交通費（高速道路狭山日高インター～牛久阿見往復） $6,360 \div 3 = 1人2,120円$ ①
資 料 作 成 費	0 円	
資 料 購 入 費	0 円	
広 報 費	0 円	
広 聴 費	0 円	
要請・陳情活動費	0 円	
会 議 費	0 円	
人 件 費	0 円	
事 務 所 費	0 円	
その他の経費	28,863 円	コピー代、コピー用紙、インク等
合 計	<u>89,203 円</u>	

3 残 額 75,797 円

- (注) 1 備考欄には、支出の内訳を記載すること。
 2 領収書その他支出を証する書類の写しを添付すること。
 3 政務活動費収支報告書に係る政務活動事業実績報告書を添付すること。

政務調査事業実績報告書

議員氏名

松橋律子

飯能市議会政務調査費の交付に関する規則第6条第2項の規定により、平成29年度政務調査費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

月 日	事 業 名	事 業 概 要 及 び 成 果 等
7月12日	先進市視察 茨城県龍ヶ崎市	<p><参加者>中元太・栗原義幸・松橋律子</p> <p><目的> 先進市龍ヶ崎市「地域公共交通の現状と路線バス運行状況公共交通」について視察。 現状・導入手法・市民ニーズ・課題や今後の方向性等を知ることから、飯能市での公共交通行政の進展を図っていくため。</p> <p><成 果> 都内まで45キロ圏内ということで開発されたニュータウン等を抱える 龍ヶ崎市内総面積は78.55km²人口77,433人と人口密度は986人/km²。バス利用者は、朝夕JR駅・新幹線駅を利用した遠距離通勤者・学生など都内に行く人が多く、日中は一般住民の生活者の利用が多い龍ヶ崎市のコミュニティバスは、公共施設・病院や商業施設を結ぶ巡回バスで利用者の利便性がよく安心して利用されていることがわかりました。 何より龍ヶ崎市内は平地であり巡回バスの活躍は、山間地域の飯能市とは違い効率の良い運行が出来る地域であること。 市街化龍ヶ崎地区を中心に分散する地域を4つのコミュニティバスで結び従来からの公共交通とすみわけを図りながら運行をしていました。 市民の機関利用の目的を明確化し、コミュニティバスの運行目的を細分明確化している。既存の交通を補完する乗り合いタクシーを導入。市と民間の事業者、地域住民との密な連携を図りながら、市民の移動手段を効率的に実現している取り組は本市も参考にすべき事例が多くありました。</p>

11月 15・16日	兵庫県姫路市 全国市議会議長会	<p><参加者></p> <p>野田議長・中元副議長 他議員砂長・松橋・加浦・ 野口・栗原 合計7人</p> <p><目的></p> <p>全国市議会議長会研究フォーラム出席 基調講演 なかむら章 氏（明治大学名誉教授） 「議会改革の実績と議会力の向上」講演・その他 人口減少と高齢化が進む地方自治体等の対応遅れ、社会全体構造変化・実態を直視、また防災や危機管理に関し、市民目線の議会対応が急務であること。進化すべきは議会であることから議会改革等全てに合わせ電子対応についても講演があった。</p> <p><成 果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員自から行わなければならない改革は地方議会も随分進んだが全体的にはまだであること。取り組みにＩＴが使われている中で活動分野は広がりがあるが議会議員の質や年齢差もあるが議員の取り組むべき姿勢が大事。 ・議会改革に於いては人口が減少する中、まだまだ縦割り行政が多く今後の議会は行政の体制整備や権限移譲が求められる。 ・市長・議員の関係は対立ではなく向かう姿勢と相互信頼拡大のもと行う議会が大事であると。 ・防災では議員意識の向上と速やかな情報発信が必要。 ・電子政府としてＩＣＴ活用議員育成の必要性が求められること。本市に於いては投票所が今も昔も変わらないことから電子投票についても考えさせられた
---------------	--------------------	--

(注) 用途基準の項目別に記載すること。